

結局「男」の方が人生「得」する？

こんにちは！匿名で失礼致します。私は、就職間近の大学生（女）です。就職活動を通して考え続けた問いについて、是非皆様と一緒に考えたい、その上で私のライフプランについてお話ししたいと思い、こちらに投稿いたします。

早速ですが、その問いというのが、タイトルにもある、「現代社会において、結局は（いわゆる）男性の方が（いわゆる）女性よりも生きていくにあたって「得」をするのではないか」ということです。（前提として、私は「希望の職場で自分本位にバリバリに働いて、バリバリに勉強して、最大限にまで出世して、様々な業務をこなしたい。そして帰ってきたら温かい家庭に迎えられたい。」という我儘な（？）理想を持っています。）このように考えた理由を3点お話しします。

まず1点目は、どうしても男性の方が働ける時間が多く、その分、出世や自己研鑽に繋がるということです。「新しい家庭を育む人生」を歩みたいならば、女性は妊娠・出産というライフイベントから（大抵の場合）逃げられません。2人子供を産むとすると、産休・育休で最低でも1年間ほど職場を離れる必要があります。一般的には2年間離れることになるでしょうか。また、妊娠中は心身に負担がかかるような仕事はできません。これらは女性にとって、少なからず地位アップ・スキルアップの障害になるでしょう。

2点目に、前述の理由から就職活動で考慮すべき事項が男性よりも女性の方が多いということです。実際に就職活動では、女性限定セミナーが各企業で開催され、主に産休・育休・時短勤務の申請のしやすさや、仕事復帰のしやすさに関して説明を受けました。「自身の興味」と「仕事と家庭の両立」の大きな2つの基準を同時に満たさなければならないという困難さは、就職活動をする女性なら誰しも感じたでしょう。

3点目に、前述の理由の通り、男性の方が仕事を自由に選べ、出世に関して優位を持っているならば、女性側が男性側の仕事事情に合わせるのが合理的であり、女性にとって仕事面での能力の最大限の発揮が難しいということです。

このような理由から女である私は損しているのではないかと考えてしまいます。

次に、上記の通り考えた上で計画している、私のライフプランについてお話しします。

まず1番の基準として考えているのは「いつ子供を産むか」ということです。婚約相手がいる訳ではないので気が早いです（笑）、身体のことを考えると30歳までに出産しておきたいと思っています。そして、出産後は家庭を優先した働き方をしようと考えています。しかし、家庭を優先するからといって「バリバリに働きたい」という理想像は変わらないか

と思います。そのために、30 歳までに、全国や海外といった幅広い地域での実務経験を積み、仕事復帰後に活かせる人間力やスキルを身につけます。そして、子供を2人(?)一気に産み(笑)、メリハリのある離職・復帰を行いたいです。

いかがでしょうか。是非皆様のご意見をいただきたいです。